

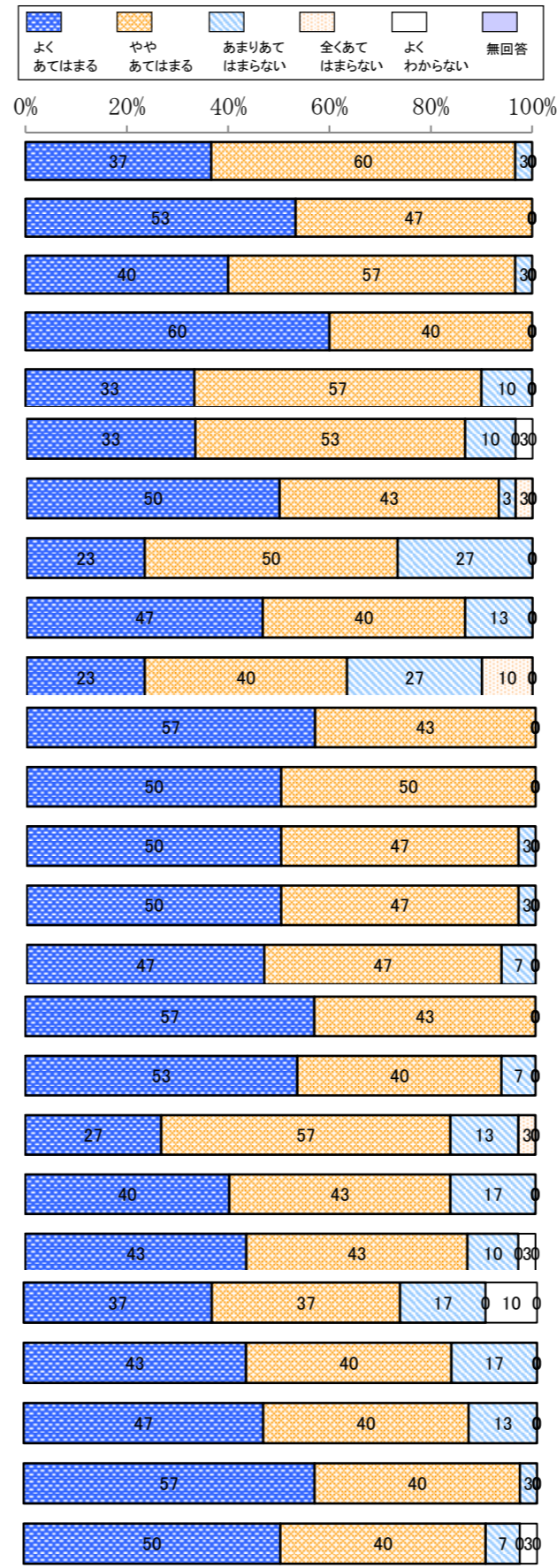
令和4年度 『学校評価アンケートの結果』 と 『自己評価』

荒川区立第三中学校

様式 4

アンケートの結果			上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員					
			A	B	C	D	よく分からない	無答
学校全体の様子	1	教育目標・方針	28	55	11	0	6	0
	2	児童・生徒の様子	64	32	3	0	2	0
	3	基本的生活習慣	47	49	2	0	1	0
	4	児童・生徒理解	25	47	18	0	10	0
	5	健康・安全・安心	44	47	6	0	3	0
学力向上の取組	6	分かる授業	25	59	13	0	2	0
	7	個に応じた指導	40	48	9	0	2	0
	8	学習習慣	30	37	30	0	3	0
	9	情報教育	52	43	4	0	1	0
	10	学校図書館の活用	15	40	42	0	3	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	48	46	3	0	4	0
	12	道徳教育	55	38	3	0	4	0
	13	教育相談	23	36	30	0	11	0
	14	人間関係づくり	62	32	5	0	2	0
	15	自治的な活動	45	43	5	0	7	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	48	30	4	0	18	0
	17	相談への対応	39	36	5	0	20	0
	18	学校への参加	32	40	17	0	11	0
	19	地域との連携	18	34	43	0	4	0
	20	意見の反映	27	45	8	0	20	0
各学校の特色ある教育	21	キャリア教育	24	44	9	0	23	0
	22	学校図書館学習	32	50	13	0	6	0
	23	I C T教育の推進	48	39	6	0	7	0
	24	学力向上	46	41	4	0	9	0
	25	ボランティア活動	25	43	14	0	18	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

目標や方針は保護者によく理解していただいている。生徒も12.6ポイント上昇した。目標を意識させた教育活動を展開する。

生徒2.4ポイント増加、保護者0.4ポイント減少だが、9割以上が肯定的な回答をし保護者・生徒とも学校生活への満足度は高い。

生徒は昨年度4.7ポイント上昇し、さらに今年度0.8ポイント増加した。継続して生活習慣の向上に努める。

励まし理解されていると評価した生徒、保護者はともに72ポイント台にとどまる。心のふれあいを大切にし生徒理解を図る。

三者とも同じとらえ方をし、9割以上が高く評価した。引き渡し訓練等、安全指導、食育、健康教育に取り組み、充実させる。

保護者の肯定的回答は昨年度8.2ポイント増加したが今年度は1.8ポイント減である。学習状況を自己分析できる授業を継続する。

教員の肯定的回答は6.9ポイント増加したが、生徒は1.2ポイント増にとどまる。少人数授業等の長所を生かしていく必要がある。

教員の肯定的回答8.5ポイント減少とともに、生徒も2.1ポイント低下。補充教室の充実、及びeライブラリーの積極的活用を促す。

生徒、保護者ともに肯定的回答は8割を上回る。今後もICTの効果的な活用に向け、研修を重ね、授業改善に努める。

保護者の肯定的回答4.2ポイント減に対し、生徒は16.4ポイントも減少。教科と連携した読書指導、図書館活用授業を推進する。

三者ともに昨年度に続いて肯定的回答が増加した。人権について機会あるごとに考えさせ、人権尊重の精神の育成を目指す。

教員の肯定的回答100%とともに生徒の肯定的回答も93.3%に及ぶ。考える道徳・議論する道徳に向け授業力向上に取り組む。

保護者肯定的回答は65.9%、生徒肯定的回答は59.0%と低い評価である。気軽に相談できる環境を構築、相談への抵抗感の減少を図る。

保護者肯定的回答は90.7パーセントに達する。今後も運動会、校内ハローワーク等、工夫・改善を加え教育活動を展開する。

三者ともポイントの増加が見られる。さらに工夫を重ね、自治活動への責任ある参画態度を育てていく。

保護者の肯定的回答は増加し90.9%である。学年・学級通信、HP、学校便りによる紹介等、間断なく継続した結果である。

教職員の肯定的回答に対し、生徒の肯定的評価は75.1%と低い。生徒が相談しやすい環境をつくりより丁寧な対応をする。

生徒23.3ポイント、保護者19.7ポイント増加した。コロナ禍においても、工夫を加え、学校の様子をわかりやすくお伝えする。

保護者は地域の行事に多くの生徒が参加していると捉えているが生徒の肯定的意見は52.2%である。今後生徒の固定化を防ぐ。

保護者の肯定的意見は、昨年度と同様の評価である。開かれた学校に向け、意見等を伝えやすい環境をつくる。

76.2パーセントの保護者が肯定的な評価をしている。生徒が社会人として求められる能力の育成に向け、取組を継続する。

全教科で積極的に学校図書館を活用した授業に取り組む。自分の考えをまとめ、アウトプットする学習を推進する。

保護者の肯定的意見は5.7ポイント増加した。今後もeラーニングによる学習とGoogle Classroomの意図的な活用を推進する。

てらこや等の補充教室や各種検定受験に向けた取り組みを、保護者は高く評価している。今後も主体的に学ぶ意欲を育成する。

肯定的な回答は、生徒11.8ポイント、保護者7.5ポイント増加。生徒のボランティア活動参加へ向けた高い意欲が伺える。